

Windows 8.1のインストールメディアの入手法

概要	<p>「Windows Installatin Media Creation Tool」はWindows 7 / 8 / 8.1に対応し、日本語を含む言語を選択してWindows 8.1インストールメディアを作成するツールです。これは“ただの”OSのインストールメディアであり、日本の一般的なコンシューマPCのリカバリメディアではありません。</p> <p>インストールメディアはUSBメモリに直接書き込む方法とISOファイル(DVD-R)で保存する2つのオプションが用意されています。</p> <p>なお、出来上がったメディアによってOSをインストールするには、当然ながら有効なプロダクトキーが必要です。</p>
準備	<p>インストールメディアを作成するためには以下の環境が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows 7 / 8 / 8.1が動作するパソコン ・インターネット環境 ・4GB以上のUSBメモリ(USBメモリで作成する場合) ・DVD書き込みドライブとDVD-R(DVD-Rで作成する場合)
入手	<p>「Windows Installatin Media Creation Tool」のダウンロード http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=510815 mediacreationtool.exe(1.26MB)</p>
作成	<p>mediacreationtool.exeを実行 OS選択画面が表示されるので上から順に希望のバージョンを選択し「Next」 例：日本語、Windows8.1、64bit</p> <p>メディア選択画面が表示されたら希望のインストールメディアを選択し「Next」 例：USBメモリはUSB flash drive、DVD-Rの場合はISO file</p>
USBメモリ	<p>USB flash driveの場合、どのUSBメモリに作成するかを選択する画面が表示される。</p> <p>「リムーバブル記憶域があるデバイス」に該当するものが表示されるので、複数ある場合は誤って選択しないように注意が必要。</p> <p>中身がすべて消去されたのち、インストールメディアがコピーされるので、後で気づいても復元は不可能だろう。ドライブレターなどを参照しながら、正しいUSBメモリを選択し「Next」</p> <p>完了したら「Finish」で終了する。</p>
DVD-R	<p>ISO fileの場合は「名前を付けて保存」の画面が表示され「保存」でダウンロードが開始される。</p> <p>ダウンロードが完了すると表示される画面で、「Open DVD Burner」をクリックするとDVD書込ソフトが起動する。</p> <p>画面の指示に従ってDVD-Rに書き込む。(これはOS標準のDVD書き込み機能である)</p> <p>完了したら「Finish」で終了する。</p>



